

# Brush Up Letter

神戸大学医学部附属病院  
D&N plus ブラッシュアップセンター

〒650-0017 神戸市兵庫区荒田町2丁目1-5 TEL 078-382-5266  
E-mail: brushup@med.kobe-u.ac.jp http://www.hosp.kobe-u.ac.jp/dn/

ブラッシュアップレター 第18号  
2016年3月31日 発行

ブラッシュアップレター 第18号

## 2015年9月～2016年3月の主な活動

全体		
10月	7日	第1回講演会
12月	4日	医学科4年生対象WLBセミナー
	17日	病院機能評価
1月	13日	第2回講演会
	16日	岡山大学シンポジウム参加
3月	2日	平成27年第2回運営委員会
	21日	岡山大学女性医師のさらなる活躍を応援するシンポジウム参加
医師		
9月	15日	育児・介護復職支援短時間勤務非常勤医師4月採用者公募
	22日	第7回ママドクカフェ
10月	29日	神戸大学医学部眼科カンファレンス開催時臨時託児サービス実施
	30日	アンケート調査「アウトソーシング利用について」
11月	5日	第8回ママドクカフェ
	18～20日	大リーガー医講座収録 18日県内病院LIVE配信(収録)
1月	8日	神戸大学特別講演会収録
	23日	なでしこ女性医師養成コース「ワークライフバランスセミナー」
9～2月	全36回	研修医MT収録
看護師		
9月	25日	キャリアカフェ
2月	25日	ランチタイムミーティング
	12.18日	復帰前研修(4.5月復帰予定者対象)
3月	21日	ママナース会
9～3月		妊娠期説明会
薬剤師		
1月	29日	薬剤師レジデント研修報告会

## 2016年4月の主な予定

全体		
4月	1日	平成27年度新規採用職員合同研修
医師		
4月	全3日	研修医ミーティング収録
	全6日	1年目研修医オリエンテーション収録
	26日	メンター・メンティーの会
看護師		
4月	4.5日	看護部採用時オリエンテーション収録
	26日	看護部長講話収録

## [9/25・2/25] 看護師キャリアカフェ開催

平成27年度も看護実践・教育開発センターと共催し、2回のキャリアカフェを開催致しました。

**9/25平成27年第1回キャリアカフェ「もやもやからの脱出」**  
ラダー研修2の研修後に時間を頂き、「もやもやからの脱出」をテーマに30分の時間で、グループワーク2セッションし、今抱えている悩みからご自分で一歩前に踏み出していただけるような気づきの時間を持ちました。



## 2/25平成27年第2回キャリアカフェ「ゆるっと、まるっと LUNCH ON MEETING」

お昼のひと時ランチを取りながら、色々な立場の方(管理職・育児中・若手・中堅などの看護師)とお話をしながら、今の悩みや、現状の様子、これから先のキャリアについてを当日その場で解決することを目的とせず、今の思いを外に出すことで次に向かう何かを得ていただければとの思いを持ち開催致しました。

普段あまり話さない方との交流により、今ご自分が抱えている問題と、視点や立場を変えて考ええていただけたのではないかと思います。ご参加の皆様、お忙しい中ご参加くださりありがとうございました。

## [10/22・11/5] 第7回・第8回ママドクカフェ

10/22第7回ママドクカフェ  
**「メンターに聞いてみよう！キャリアアップってどうするの？」**をテーマに、初のメンター・メンティーの会を開催。当日はメンターとして8名の先輩医師にご協力頂き、センター長(教授)、中堅医師、研修医、医学部生と幅広い年齢層の方たちが6つのグループに分かれディスカッション。聞きたい事、伝えたいことをご参加者の皆さんが語り合う濃厚な時間となりました。いつもとは違ってカジュアルな先生方に出会えた時間となったように思います。1時間が瞬く間に過ぎたような印象でした。



ご参加の皆様、お忙しい中ご参加くださりありがとうございました。

11/5第8回ママドクカフェ  
**「多忙なイクメンクター 我が家の子育て」**(神戸大学男女共同参画推進室協同主催)循環器内科 田中秀和先生を講師に向かえてのイクメンクターによる講演会。奥様も医師であり、4人のお子様を共に育てておられます。また職場では育ボスでもあられるとのこと。

公的に渡り子育て期の医師をサポートする立場に居られます。今回の講演に至るまでのエピソードや、日々のタイムマネジメントのご苦労、工夫を楽しく分かりやすくさらりとお話頂き、当院にこんな理解ある男性医師がいらっしゃる事がとても嬉しく感じました。日々の様子をさらりと仰られていましたが、ご家族へ、特に奥様への気遣いは素晴らしい一言です。田中先生ありがとうございました。

また、アンケートもクリッカーを使い臨場感あふれるセミナーとなりました。

## [12/4] 医学部医学科4年生対象ワークライフバランスセミナー

今年も、4年生対象のワークライフバランスセミナーが開催されました。

今年はオリエンテーションの中で、女性の妊娠可能年齢(妊育力)の講義も加わり、ジョブキャリアと共にライフプランについてのお話も盛り込まれました。午後のケース発表時には同じケースを検討したグループの意見を聞くこと、2グループがロールプレイで発表する等、更にバージョンアップした発表の時間を持ちました。

また、アンケートもクリッカーを使い臨場感あふれるセミナーとなりました。

講演会の詳細はブラッシュアップセンターHPに掲載しています。  
[http://www.hosp.kobe-u.ac.jp/dn/ews/20151105\\_news.html](http://www.hosp.kobe-u.ac.jp/dn/ews/20151105_news.html)

D&Nplus ブラッシュアップセンターセンター長より

## 育児・介護復職支援短時間勤務医師制度開始8年が経過して

神戸大学大学院医学研究科 皮膚科学分野 教授  
錦織 千佳子

本センターが院内に設置されて、はや10年が経ちますが、この10年で大学病院にも子育て中の女性医師が増えたことは嬉しいことです。育児や介護の経験は医療人としても一人の人間としても貴重な経験で、「仕事も家庭」といった二者択一ではなく、仕事も家庭もその人の一部の管です。子育てをしながら働くのが当たり前風景となり、それを見ながら若い人たちが育ち、そして、次世代も同様にその営みが続くことが大事だと思っています。

「育児短時間勤務医師」制度は、育児中の大変な時期を乗り越えるセーフティネットとして設立されました。短時間勤務を希望する女性医師を通常の医師枠とは別枠とし、医療現場での復職支援をして常勤への準備期間とするというものです。採用後も1年毎の継続審査、最長3年という縛りがありますが、本制度の利用者の中から本院の助教や講師になられた方、近隣の病院に常勤で働かれている方も多数おられます。

最近では本制度も広く知られるようになり、幅広い診療科から、多くの方に応募頂いており、また応募されてくる女性医師の中には、明確なキャリアプランを持ち、上昇志向の強い方も多く、頼もしく思っております。今後の神戸大医学部付属病院を支える貴重な人材を醸成する一助となれば幸いです。

## [10/7・1/13] 2015年D&Nplus ブラッシュアップセンター講演会

「仕事も家庭も諦めない そんな医療人、病院組織を目指して」

10/7第1回講演

演題：医療機関におけるワーク・ライフ・バランス

講師：渥美 由喜先生

内閣府少子化社会対策大綱を踏まえた結婚・子育て支援の推進に



2015年第1回講演会、渥美先生をお迎えし「医療機関におけるワーク・ライフ・バランスとは？」をお話頂きました。

渥美先生はキャリアを重ねておられる奥様と共に子育てをし、そしてご自信のお父様の介護をご家族皆さんと一緒に関わっておられます。小さいお子さんを巻き

き込んでの介護。次にバトンを渡す世代を育てておられます。■ワーク・ライフバランスは「定時に帰りましょう」ということではないこと。本来やるべき仕事にエネルギーを投入できるように、やらなくていい事は徹底的にやらないという覚悟を職場風土にすることが大事である。

■ワーク・ライフバランスはシーソーのように捉えられているがそうではない。どんなやりがいのある仕事も、あくまでも人生の一部である。

■コミュニケーション力を磨き、男性はライフの経験を、女性はワークの経験を持つことが必要である。

等、これからの超高齢社会、人口減社会、制約職員の増加の時代に向けて組織としての取り組み方法や、個人の覚悟と自立についてを丁寧にお話くださいました。渥美先生ありがとうございました。ご参加の皆様、お忙しい中ご参加くださりありがとうございました。

1/13第2回講演

演題：医師として研究者としての子育て期の働き方

講師：高橋 政代先生

理化学研究所 多細胞システム形成研究センター  
網膜再生医療研究開発プロジェクト プロジェクトリーダー



2015年第2回講演会が高橋政代先生をお迎えし、ips細胞を世界で最初に臨床現場に用いた経緯やそのご苦労のお話をさせて頂くと共に母として、研究者、また医師として覚悟を持って働いてこられた様子をお話頂きました。

高橋先生の子育て期、やはりお子さん

の病気の時の対応には苦労されたようです。ただ、女性医師がマイノリティだった時代、診療に穴を開けられないという覚悟の下、友人数人とグループを作り子どもの病気の時の対策を講じられたお話は「なるほど」と、感心するものでした。子どもの病気はずっと続くわけではありませんが、転ばぬ先の杖。仕事は休めない、誰にも頼めない等どうしようもない状況にならないように準備を整えておられたようです。今ではこのシステムを採用しているNPO法人もあるそうです(残念ながら、神戸近隣では利用できません)。工夫次第で自分も子どもつらい、しんどい思いをしなくて済むのはすばらしいことだと思います。また、子育て期の6か条は、幼いお子さんの成長を願うお母様視線のお話としてとても温かく、まさに「仕事も家庭も諦めない。」を実践してこられたことをご講演くださいました。高橋先生ありがとうございました。講演会後は、長崎大学病院メディカルワークライフバランスセンターからお越しくださいました南先生はじめスタッフの皆さんと意見交換をさせて頂き有意義な時間を持ちました。

[1/23] 平成27年度文部科学省未来医療研究人材養成拠点形成事業「地方と都会の大学連携ライフィノベーション」に伴う

「なでしこ女性医師養成コース」ワークライフバランスミーティング～家庭と仕事と子育ての両立をどうするか?～

基調講演：医師の仕事と介助犬の普及活動 母として続けること

講師：高柳 友子先生

社会福祉法人 日本介助犬協会 横浜市総合リハビリテーションセンター

高柳先生のお話は、介助犬に出会われた経緯。お二人のお子さまの子育てと平行して介助犬を育て、介助犬法立案・成立されたこと。そして、医師として、母としての覚悟の持ち方、子育て期の周りの巻き込み方等、若いパパママに宛てたメッセージをたくさん頂きました。子どもはいつの間にか大きくなってしまふもの、成長させ、羽ばたかせてあげるのが親の役目であること。幼いときだけがパパ、ママの役割ではなく、成長した後も子どもが必要とするならば、一緒に過ごす時を持つことも必要である等、そろそろ巣立ちの時を迎えるお二人のお子様のお母様らささが随所に散りばめられたお話でした。

第2部では7名の医療者の子どもたちが元気に走り歓声が聞こえる中でのポスターセッション。ふっとした時に、お母さんお父さんの表情が現れながらも、職業人としての意識を持たれた発表でした。発表者は、医学生・若い研修医・育児休業を2度取得された男性コメディカルの方、今は子育て期を乗り切られた先輩医師・子育て現役の医師からそれぞれの立場からの発表はとても興味深いものでした。

開催案内

[4/26] Dr.キャリアカフェ(第9回ママドクカフェ)メンター・メンティーの会 vol.2

対象：当院医師 時間：12:00～13:00 場所：神緑会館多目的ホール 昼食有り(昼食準備の都合上センターへお申込下さい)

【編集後記】

平成27年度も皆さまにご協力ご支援を賜り無事に平常業務はもとより、ママドクカフェ・医学科生対象のWLBセミナーや看護師キャリアカフェ・ママナー会等、職種別様々な行事をつながり執り行うことができました。ありがとうございました。また、今年もなでしこ女性医師養成コース「ワークライフバランスセミナー」でアウトソーシング利用に関する発表をさせて頂く等新しく情報提供の機会を与えて頂きました。重ねてお礼申し上げます。次年度も男性女性関係なく、全ての医療者にとって働きやすい環境とは何かを考えながら、丁寧に皆様に向き合える部署としてさらにアクティブに取り組んで参りたく計画を立てております。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

D&Nplus ブラッシュアップセンターは、神戸大学医学部附属病院に勤務中の全職員(関連病院で勤務されている医師を含む)を対象にサービスを提供いたしております。登録方法等詳細のお問い合わせは、当センターへご連絡をお寄せください。